

2014年11月29日(土)

<第1セッション>「ICTを効果的に活用しよう」

授業研究(1) 洪性薫『韓国語教育におけるICT活用の事例』

- ・ ハングルについて映像で提示、「ハングルは科学」
- ・ 歌で学ぶハングル  
まずは母音、それから子音の歌を生徒に提示
- ・ 数字も歌映像(「소리나는 벽 그림」を使用)で提示している。
- ・ 文化授業(映像教材)→「성질 급한 한국사람」、「세프코리아」、「뽀로로 “뽀로로가 한국에 왔어요”」、「울지마 톤즈」

授業研究(2) 李貞榮『授業の中でICTを活用することによって』

- ・ ビデオレター 他府県(山形県)の高校生と韓国語でビデオレターを交換。  
テーマを決めてお互い発表(自己紹介、「좋아해요」を使って表現等)  
各地域のご当地クイズ(名産品、伝説、キャラクター、お祭り等) 等も出してQ&A  
(「ずんだもちとは?」「楽天イーグルスについて」)
- ・ 最近では、LINEで撮り、LINEで送ることもできる。
- ・ 「楽しもう韓国語」高校生大会に出場した映像に日本語で字幕をつけ、後輩に見せる。  
韓国語を知らない人にも広報になる。  
次、大会に出場する生徒にとっては、どんな様子か知ることができる。

授業研究(3) 山下誠『カンナさん大成功(アフレコ物語)』

- ・ 10年ほど前上映された映画「カンナさん大成功」を使って生徒にアフレコをさせる。
- ・ まず映画の紹介。筋書きを既習事項の韓国語を入れながら説明(最後のカミングアウトのシーンを使う。)
- ・ 鑑賞…聞き取り 必要部分を日本語→韓国語
- ・ 練習(CALL教室にて) 読み合わせ→シャドウイング→収録
- ・ アフレコする教材: 動画(リアルプレイヤー)、音楽(WMP)、スクリプト(エクセル)
- ・ 同時に画面上で提示して生徒に録音させる
- ・ 組み込みもパソコンを渡して生徒にさせる
- ・ 前後に本来の映画をつけて完成

全体討議

<ICT活用>

- ・ ICTありきではなく、授業の授業を決めてからその達成にふさわしいやり方をする。
- ・ 活用にかかなりの時間がかかるのでは?  
生徒にパソコンを使わせるようにするのも時間がかかる。  
先生より生徒の方が得意である場合もある。その時は生徒の力を活用するようにできないか。
- ・ 著作権の問題  
生徒に作品を作ってもらう場合には著作権、肖像権の対処法も一緒に考えてもらう機会にすると良い  
マニュアルなどの整備が必要
- ・ 設備の問題